

# 「子どもを守るネットワーク」事業 子どもネットニュース



VOL. 148

## 特別インタビュー

子どもを守るネットワーク対策委員会 河合敏郎委員

(運輸労連 ヤマト運輸労働組合西東京支部 執行委員長)



子どもを守るネットワークの取り組みを、現場ではどのように推進しているのか、インタビューを行いました。今回は子どもを守るネットワーク対策委員であるヤマト運輸労働組合西東京支部の河合委員長に、活動状況や今後の目標を伺いました。

### ■ 子どもを守るネットワークの取り組みの現状を教えてください。

ヤマト運輸では子どもを守るネットワーク活動を行う以前から、地域の安全を守る活動をいくつも行っていきます。業務中に危ないめにあっている人・困っている人を見かけたら助けたり、逆に怪しい人を見かけたら声をかけたりするように指示されています。そのため、子どもネットもその一環として取り組んでいます。

### ■ この活動について会社側の反応はどうか？

元々ヤマト運輸は「地域に根差した活動」という考えがあるため、子どもネット活動に参画することに對してはすぐに理解を得ることができました。

### ■ この活動に取り組まれてからの苦労はありましたか？

参画当初は現場の方（運転手）の理解を得ることが難しかったです。大型トラックだと夜間帯や遠くの地方（三多摩以外）への運送もあるため、子どもの目につきにくい時間帯であることや三多摩地域以外の子どもたちが認識していないという点から、ステッカー貼り付けは難しいのではないかと声もありましたが、粘り強くお願いをしました。

### ■ 新ステッカーに対する周囲の反応はどうか？

前回のデザインより可愛らしいという反応が多かったです。ただ新ステッカーの配色がヤマト運輸の車に馴染んでしまい、ステッカーがあまり目立たなくなってしまうという声もありました(笑)

### ■ 今後、「子どもを守るネットワーク」の活動をどのように展開していきたいですか？一言お願い致します！

運輸労連の単組の中でもまだまだご活動に対する理解が得られていないところがあるので、この活動の重要性をしっかりと伝えて参画団体を増やしていきたいですね。また、この活動を通して組合同士の繋がりは出来つつありますが、参画企業同士の繋がりを増やしたり、参画している企業と組合が一体となった活動も行っていけたらと思っています。



河合執行委員長、ご協力をありがとうございました！

「子どもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内